

『反障害原論』第一刷筆者校正

3 P 下段9行

とりあえず、これまでの「障害」に対して、社会モデルとしての概念の架け橋として、「反障害」という言葉を措定したいと思います。

↓とりあえず、これまでの医学モデルの「障害」（後に「障害」と区別して表記）に対して、「社会モデル」の概念の突き出しとして、「反障害」という言葉を措定したいと思います。

5 P 下段7行論考↓論攷

13行論稿↓論攷

7 P 下段後ろから10行目 「いか障害者」 ↓ 「障害者」^{いか}

後ろから7行目 「ことば障害」 ↓ 障害

後ろから6行目 「ことば反障害」 ↓ 反障害

8 P 表 最初のくぎり縦線を二重線に

下段 1行 補節↓補節一

13 P 後から2行 入門書の翻訳↓入門書の翻訳本へのコメント

16 P 上段後から5行 国際的に↓国際的な

18 P 下段12行 絶対的排除だけの差別↓絶対的排除の差別だけ

21 P 下段後から3行 「内自由化」 ↓ 「内自有化」

- 32 P 上段 9行 皆さん、↓皆さんの、
- 34 P 下段 17・18行 価値的に両義的に↓価値両義的に
- 35 P 下段 1行 厳密に言うときそのもの<につなげてしまつて
↓厳密に言うときそのもの<としか言いようのないことを「障害」につなげてしまつて
- 38 P 上段 8行 国連の「障害者の権利宣言」↓
国連の「障害者の権利宣言」の障害(者)規定
- 39 P 上段後から5行 「社会的責任」↓「社会の責任」
- 47 P 上段 9行 んでいく↓んでいく。
- 54 P 上段 4行 わたしの↓わたしが
- 69 P 下段後から1行 行き↓生き
- 74 P 下段後から6行 切り替えし↓切り返し
- 87 P 下段 2行 有機体的世界観↓有機体的世界観の成立、
10行 物理論↓物理学
- 89 P 上段 14行 わたしの発見↓わたしの「発見」
下段 7行 こころみ↓試み
- 106 P 上段後から9行 ものです。↓ことです。
下段後から6行 ひとつのテーマとして↓障害学のひとつのテーマとして
5行 生み出してきました。↓生み出そうとしてきました。
- 114 P 上段 8行 補説二〇頁↓補節二 一六六頁

- 135 P 上段後から3行 モデルところからの障害分析↓モデルからの「障害」分析
- 147 P 上段後から9行 一人のひとは一部に参与し↓一人のひとはその一部に参与し
下段後から8行 整理↓管理
- 165 P 下段11行 今の社会資本主義社会↓今の社会―資本主義社会
- 171 P 下段1行 補節↓補節一
- 180 P 上段1行 きているという指摘されています。↓きていると指摘されています。
下段15行 押さられます。↓押さえられます。
- 183 P 下段13行 する。↓、
- 198 P 下段3行 「重度障害者を」↓「重度障害者」を
- 208 P 上段後から2・3行 (性>差<) ↓(性(差))
- 210 P 下段最終行 という問題にも↓という記述を入れている問題にも
- 214 P 下段後から7行 り結局、↓り、結局、
- 223 P 上段一節のタイトル 翻訳↓翻訳本へのコメント
- 229 P 13行 しています。(一四〇頁) ↓しています(一四〇頁)。
- 242 P 下段7行 と書いていました。↓という趣旨のことを書いていました。
- 255 P 下段10行 あり、そのことを青い芝の人たち↓あり、青い芝の人たち
- 263 P 2行 茂木の本発行年数落ちてくる↓1990年
- 奥付 上から12行 (生活書院 2008年) ↓(生活書院 2008年) から